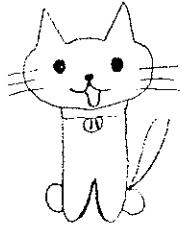


# わんにゃん新聞 VOL.1



みなさん、こんにちは！  
このたび西川動物病院オリジナル新聞を作りました。  
定期的に発行しますので、毎回読んでいただくと嬉しいです。  
さて！記念すべき第1回目は「フィラリア予防」がテーマです。



## 本当に怖い フィラリア症

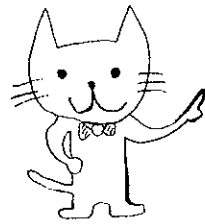
皆さん、フィラリアの予防、毎年確実に  
できていますか？予防薬は、すでに体内に  
いる子虫を駆除するものなので、蚊を見なくな  
った1ヵ月後まで投与する必要があります。

蚊によって、動物の体内に運ばれたフィラリアの  
成虫は、成長しながら心臓に移動します。

成長したフィラリアは、なんと体長15~30cmになり  
子孫をどんどん増やして、小さなペット達の心臓の  
働きを邪魔します。

心臓の働きが低下したペットは、咳をしたり  
元気の食欲がなくなり、症状が進むと失神したり、  
貧血になったり、お腹に水がたまるようになり、  
やがて、死に至ります。

大切なペットをフィラリア症から守るため  
毎年5月末~11月末まで、  
毎月1回必ず予防しましょう！



## 猫ちゃんも フィラリア予防

ワンちゃんでも有名なフィラリア症。  
実は、猫ちゃんにも寄生するとご存知ですか？  
ワンちゃんよりも体の小さな猫ちゃんほど、症状が  
大変おそろしく、急速に衰弱し死に至ります。

猫ちゃんの突然死が実はフィラリア症だったという  
例もあり、これからの季節猫ちゃんにもかかせない  
予防の1つです。

予防方法ですが、猫ちゃんの場合、ノミ駆除と一緒に  
できる「レボリューション」というスポット剤で行います。  
なんと、このお薬、首筋の皮フに毎月1回つけるだけで、  
ノミ、回虫、ミミヒゼンダニの駆除、フィラリア予防  
まで、できてしまう、まさに革命的お薬です。

猫ちゃんも 毎月1回  
フィラリア予防を

しましょう！！

西川動物病院 (43)-0200

まだまだ裏面も





# 人でも感染 怖い病気



## ◎狂犬病◎

2006年、日本人が海外で犬に噛まれ、帰国後狂犬病を発症し死亡した  
ニュース覚えていらっしゃるでしょうか？海外では、何万人もの命が奪われています。  
人が狂犬病に感染すると、風邪のような症状やとても不安な事が多くなり、  
水や風が怖いという症状が出ます。

また、幻覚を見たり、興奮状態となり、全身のケレム、呼吸マヒ、そして意識不明となり  
最初の症状が出てから、1週間で死に至ります。

有効な治療法はなく、ほぼ100%が死亡する大変怖い病気です。

海外で、犬に噛まれたら、すぐに病院へ行きましょう。また、最近では コウモリ からの  
感染も報告されています。

日本で、犬に噛まれた場合も、1年以内に狂犬病ワクチンを接種しているか必ず確認し、  
病院へ行くことをおすすめします。

愛犬には、必ず狂犬病ワクチンを接種しましょう!! 法律で定められています!

## ◎フィラリア症◎

日本では、これまで90人以上の人がフィラリアに感染したと報告されています。  
ただし、フィラリアに感染している犬の飼育と人の感染は、直接関係はないとされています。

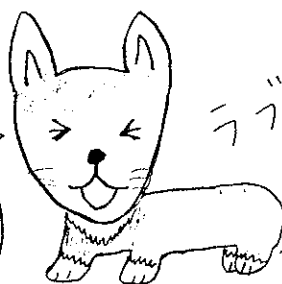
人での感染症状は、咳や胸が痛む、<sup>タン</sup>痰に血が混っているなどですが、  
無症状の場合も多いため、人も定期的な健康診断が必要で

人の場合、特に予防はなく、感染した時は外科手術によってフィラリアを摘出するそうです。

これからの季節、人も動物も **防虫対策** ですね!



お大事に!!



文責  
看護師: 加持カモチ

西川動物病院